久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 令和5年度 第3回会議 会議要旨	
日時	令和5年11月9日(木) 18:30~
場所	久留米市役所4階会議室
出席者	委員:中尾会長、古村副会長、岡委員、杉本委員、真木委員、大内田委員、森田委員、 重永委員、江上文幸委員、濵本委員、椛委員、吉永委員、堀田委員、岩坂委員 米村委員、豊福委員、豊福委員、江上憲一委員、川嶋委員、佐藤委員、横道委員 事務局:・長寿支援課 古賀課長、植松補佐、野口補佐、鹿毛補佐、堤主査、城戸主査、稲益 主査、段野主査、岡本、吉開 ・介護保険課 藤木課長、田原主幹、髙口補佐、堤補佐、野田補佐、城戸主査、小川
欠席者	柴田委員、後藤委員、緒方委員、中園委員
傍聴者	1名
議事 次第	1 開会 2 報告事項 ・前回協議会後の追加意見(書面)について ・地域ケア会議専門部会からの提言(案)について ・介護サービス基盤の整備及び保険料について 3 協議事項 ・第9期計画骨子(案)について 4 その他 ・今後のスケジュール(案)について 5 閉会
議事	
1 開会	

1 開会

〈事務局〉

これより、令和5年度第3回計画推進協議会を開催いたします。

2 報告事項

- 前回協議会後の追加意見 (書面) について
- 地域ケア会議専門部会か らの提言(案)について
- 介護サービス基盤の整備 及び保険料について

<会長>

次第の2番「報告事項」に移ります。 報告事項3点について、事務局から説明をお願いします。

【事務局より説明】

- ①前回協議会後の追加意見(書面)について
- ②地域ケア会議専門部会からの提言(案)
- ③介護サービス基盤の整備及び保険料

<会長>

ありがとうございました。

報告事項として3点説明がありましたが、委員の皆様方から何かご意見ご質問はご ざいますか。

<委員>

第9期計画骨子案に、介護保険料の設定の記載がありませんでした。3点目の報告が、それに代わるものとして捉えてよろしいでしょうか。

<事務局>

第9期計画における保険料の設定について、現時点では、国から明確なところが示されておりません。国の方針が示されるのは、12月末頃になるだろうと聞いております。国の方針が示された後でないと、具体的な保険料等の算定ができませんので、現時点での考え方を示させていただいたということになります。

<委員>

それでは、第9期計画では、保険料については記載されるということでよろしいでしょうか。

<事務局>

第9期計画では、保険料がどのくらいになるというのは、必ず示すことになります。国の方針が分かり次第、お示しいたしますので、申し訳ございませんが、それまでお待ちいただくことになります。

<委員>

それでは、パブリックコメントでは、まだ保険料の記載がなされてないということですね。

<事務局>

パブリックコメントを実施する予定にしておりますが、国の方針がいつ示される か次第になると思います。

パブリックコメントの際には、出来る限り保険料の方針をお示ししたいと考えているところですが、現時点では何とも言えないところです。

3 協議事項

第9期計画骨子案

について

<会長>

それでは、協議事項に入りたいと思います。

「第9期の計画骨子(案)について」、こちらも事務局からお願いします。

【事務局より、骨子案(資料2)を説明】

<会長>

ご説明ありがとうございます。

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様からご質問ご意見ございますか。

<委員>

4点質問いたします。

1点目は、5頁です。5頁の棒グラフの中に久留米市の総人口が入っていません。 総人口が増えていくのか減っていくのか、その中で高齢者が増えているのか、総人 口は減るが、高齢者が増えているのか、そこがわかりにくいです。事業展開とも関係しますので、ここには総人口も一緒に入れたほうがいいと思います。

2点目は、6頁、これは棒グラフにしていただきたいと思います。数字を一つ一つ見ながら検討するのはとても見にくいです。わかりやすく棒グラフにして欲しいです。

そして、令和6年7年8年度の推定が載っておりません。まだできていないのか、 それとも、推定はもう載せないのかわかりませんが、記載いただいたほうが分かり やすいのではないかと思います。

3点目、9頁10頁です。住宅型有料老人ホームとかサービス付き高齢者住宅は、 高くて入れないっていうのが、年金暮らしの高齢者の実態です。そして、特養老人 ホームはいっぱいで入れない。しかし、これを見ますと、事業者さんは、特別老人 ホームについては、不足を感じる事業者が少ないとなってきています。

事業者側の方のご意見と、要介護者やその家族が感じているところは、少し違う のではないかなと感じています。

第8期では、計画のなかに、依然として待機者の多い特養老人ホームと記載されていましたが、今回はそれが記載されていません。この待機者数というのは、市では調査しにくいかもしれませんが、第8期には、記載されていましたので、第9期でも記載していただきたいと思います。また、待機者はもう解消されおり、希望者は入所できるということであれば、そういった書きぶりになるのではないかと思います。

4点目です。16頁、17頁です。事業の展開の書きぶりが、行政向けのものだと感じます。市民への発信であるならば、もっとわかりやすく具体的にこんなことをしますよという発信の仕方であって欲しいです。

例えば、11 月の久留米広報で『住み慣れた「まち」で暮らしていくと』いうところで、「通いの場」が介護予防になることや、認知症の人が安心できるためにオレンジ協力隊が発足したといったようなことが、2 頁にわたって市民の方々に広報してありました。しかし、それがここに来るとただ「通いの場の拡充」と記載されているだけで、ぱっと見ただけでは、どんなものなのかがわかりにくいです。

そして、オレンジ協力隊が、この事業の展開の中に入っていません。

また、権利擁護や保険料も具体的な内容が書かれておらず、どのように取り組んでいくのか分かりません。全体的に具体的な記載がないので、市民への発信、市民がこれを読むことを前提していないのではないかなと感じてしまいます。

<事務局>

まず、5 頁、久留米市の高齢者人口・高齢化の推計のところについて、総人口が 入れられないかというところですけども、記載の方法については、検討させていた だきます。

<事務局>

6頁の記載について、2つご意見いただいていたかと思います。

1点目の棒グラフにしていたらどうかという点については、どのように掲載するのが分かりやすいか検討いたします。第8期計画では、計画の本編とは別に、資料編を作成しております。第9期計画についても、資料編への記載も含めて調整していきたいと思います。

2点目は、令和6年~8年の推計の部分もあった方がいいのではないかという点ですが、今後記載していきたいと考えております。記載方法については、検討していきます。

9頁、10頁ですが、あくまでもアンケートの結果として掲載しております。 特養の待機者数や各種サービスの需要がどれだけあるのか等を推計します。そして、給付費がどのくらいになるのかというところも、これから推計をして参りますので、今後お示ししていきたいと考えています。

16 頁、17 頁、18 頁ここはまとめて回答させていただきますが、今回説明させていただいておりますのが、骨子ということになります。計画の骨子ですので、大まかな考え方をご説明し、協議いただきたいと思っております。

委員ご指摘の点は、第8期計画の本編をご確認していただいてのご意見と思って おります。骨子案が固まりましたら、第8期と同じように具体的な事業等を書き込 んで、第9期計画の素案という形でお示しさせていただきます。

<委員>

今の説明で少し理解ができました。

待機者については、ホームページに掲載するといったことが書かれていくわけですか。

<事務局>

この待機者数というよりも、どのくらい需要があるのかというような形で表していくことになるかと思います。第8期では本編と資料編という形で作らせていただいております。第9期計画においても、どちらかには載せるような形でご提示できればということで考えております。

<委員>

検討していくときに第8期についても同じものを出していただかないと、見比べができません。検討ができるような形での、資料作成をお願いします。

<事務局>

資料が不十分で分かりにくかった点については、申し訳ございませんでした。

<委員>

16 頁、第 2 部の高齢者福祉施策及び介護保険事業の展開(案)の「1、健康づくりと社会参加の推進」についてです。ここに書いてあることはとてもいいことで、よくわかりますが、ひとつ付け加えていただきたいことがあります。

高齢者自身が、活用できるサービスがどのようなものがあるというものを、どうやって情報提供するかという視点が必要だと思います。十分に広報ができているかどうかは、もう一度検討したほうがいいのではと思います。6点目として、高齢者への情報を円滑に届けるための仕組みづくりを推進するなどが、追加できるといいのではないかと思います。

<事務局>

委員のご意見のとおり、高齢者の方が活用できるサービスをしっかり伝えていくというのは、大変重要であります。骨子案で、5点挙げております取り組みに、6点目として加えるのか、もしくは各事業のなかに取り込んでいくかは、検討させていただきたいと思います。

<委員>

15 頁、施策体系において、「地域包括支援センターの機能充実」とあげていただいて、これはとてもありがたいなと思います。機能充実については、少しずつ具体化できればいいなと思っておりまして、地域包括支援センターさんが、現在大変多忙で、地域支援をするときに、十分に活動できてないのかなという気がしています。そこは意見としてお願いしたいです。

また、認知症の施策に関してですが、早期発見・早期対応に非常に大事なところなので、特に認知症の初期段階での支援等についても、ぜひ強化していただきたい。 です。

<事務局>

いずれも、今後大変重要なところになって参りますので、そこは検討して、皆様から、またご意見いただければと思っております。

<委員>

どこに該当する意見かは悩みましたが、14 頁の基本方針で「計画推進に共通する基本的な視点」では、「重層的支援、他分野との連携促進」、16 頁の「3 地域における~」のところには、「多機関連携」によるというのと、その他には、「多職種連携」という言葉もあると思います。

周知という点では、介護医療関係の連携だけではなくて、地域共生社会を今後目指していくのであれば、商工会や地域の方々などの様々な分野との連携も必要だと思います。行政や医療介護の分野は、アウトリーチが足りない分野だと言われているので、様々な事業の周知啓発活動と絡めて、アウトリーチの強化についても、検討していただけたらなと思います。

<事務局>

委員のご意見のとおり、特にアウトリーチが大事だという点について、各事業で どのように取り組んでいけるかは、今後検討させていただきます。

多機関、多職種、重層的支援などの文言についても、整理させていただきます。

<委員>

どの項目でお伝えしたら良いか悩みましたが、意見として受け取っていただければと思います。住生活計画で、マンション管理組合に所属されている委員の方から、認知症やゴミ屋敷問題で困っているというような話があっていたのを思い出しました。この計画に組み込めるかはわかりませんが、支援のあり方として、専門職だけ、医療と介護だけで解決できなくなってきているというのが実感としてあります。様々な機関との連携というのは、やはり取組みをすすめる上では、重要な視点としては、ぜひ持っていただけたらと思います。

<事務局>

第9計画におきましては、基本的な視点の中で市民との協働を掲げており、計画をすすめていくためには、様々な機関、地域の方々と連携して取り組んでいきたいと考えております。そういった認識を持ちながら、計画を策定・推進していきたいと思います。

<会長>

それでは、前回の会議で虐待の話が出ていたかと思います。これについて、簡単に説明をお願いします。

【委員欠席のため、事務局より説明】

<会長>

いま説明がありました虐待について、また骨子案について、ご意見やご質問はありますか。

第9期の計画骨子案については、委員の皆様からのご意見を踏まえて、作成していくものです。市民目線で考えていただきたいというのが、意見としてでてきたように思いますので、事務局においても、再度検討いただければと思います。

<委員>

虐待の対応件数について説明がありました。私自身も、自分の親を看ておりましたが、忙しすぎて虐待かなと思うときもありました。

また、女性にとって、とても大きな問題としてDVがあり、高齢者のDVは意外と多いです。人生の終わりだからこそ、ここから逃げ出していきたいと思う一方で、高齢であるが故に経済的なこと、住宅のことなどを理由に、なかなか抜け出せなといった実態もあります。DV関係についても、もう少し触れていただければと思っていますので、意見として受け取ってください。

<事務局>

高齢者の虐待の部分について、DVも含めたところで、素案にどのように掲載するかは、検討いたします。ありがとうございました。

<委員>

意見ですが、市民の方が読んでわかるような文章にして欲しいです。福祉用語では、非常にわかりにくい用語がたくさん出てきます。ざっと見ただけで、フレイル、ヤングケアラーなどがあります。

以前、私どもの地区では行う校区祭りにおいて、CKDの検診があるのでご参加くださいと呼びかけたところ、参加者が集まりませんでした。そこで、チラシに慢性腎臓病という記載をしたところ、100名以上の方が健診に参加されました。

カタカナやアルファベット表記を、すべてなくすことは難しいとは思いますが、市民に分かりやすいように、記載をしていただきたいと思います。

また、7月の災害を受けて、災害復興シンポジウムを開催します。過去の大きな 災害について記された文献などを基に、今後の災害に備えて何ができるかを、地域 で考えていきたいと考えています。

<会長>

委員のご意見のとおり、専門用語については皆さんがわかりやすいように表記したほうがいいのではないかと思いますが、いかがでしょうか。

<事務局>

ご意見いただいたとおり、確かにカタカナ語が多く、わかりにくいところもあるかと思います。皆さんにわかっていただけるような資料作りをしていきたいと考えております。次回お示しする素案を作成するなかで、検討させていただきます。

4 その他

今後のスケジュールに ついて

<会長>

それでは、「今後のスケジュール」に移ります。事務局から何かありますか。

<事務局>

【次回スケジュール等について説明(12月に開催予定)】

委員の皆様から何かご意見やご質問などございませんか。 他になければ、司会を事務局に返します。

5 閉会

<事務局>

司会進行ありがとうございました。 以上をもちまして、令和5年度第3回計画推進協議会を終了します。